

### Ⅲ がん死亡数及び死亡率

#### 1. 主要部位別死亡数、粗死亡率及び年齢調整死亡率

表5に、岡山県の2005年のがん死亡数、粗死亡率及び年齢調整死亡率（標準人口：1985年日本人モデル人口）、死亡割合を男女別、主要部位別に示した。

がん死亡数については、人口動態統計の数値（外国人を含まない）を使用した。

死亡割合についてみると、男では、肺（24.2%）、胃（15.5%）、肝臓（13.7%）が上位3位を占め、女では大腸（13.7%）、肺（13.0%）、胃（12.8%）が上位3位を占めた。結腸と直腸を合わせて大腸とすると、大腸が男では10.0%で4位、女では13.7%で1位となる。

表5 死亡数、粗死亡率、年齢調整死亡率および死亡割合：主要部位別、性別 2005年

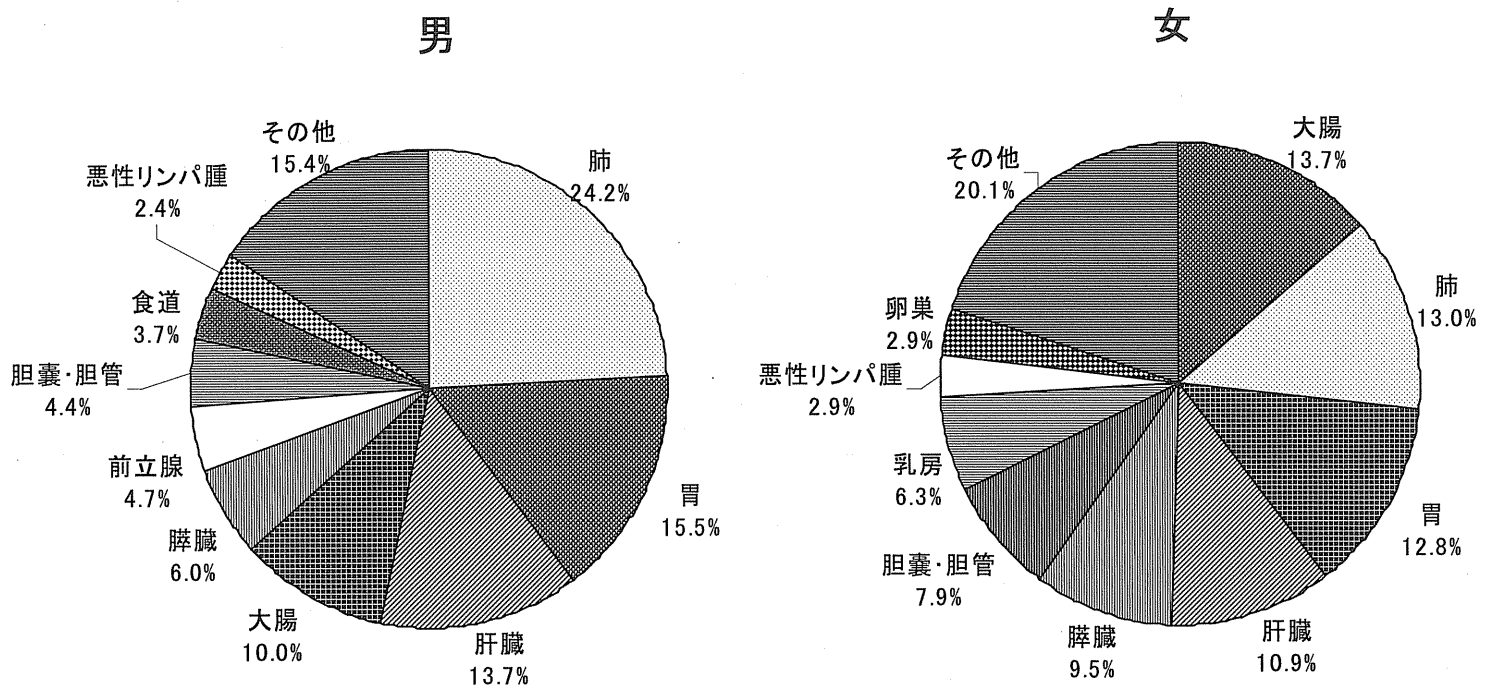
部位	死亡数		粗死亡率		年齢調整死亡率				死亡割合	
					日本人人口		世界人口			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
全部位	3,010	1,947	322.4	191.9	180.8	83.1	123.6	58.5	100.0%	100.0%
口腔・咽頭	56	30	6.0	3.0	3.8	1.6	2.8	1.2	1.9%	1.5%
食道	112	26	12.0	2.6	7.4	1.1	5.4	0.8	3.7%	1.3%
胃	466	250	49.9	24.6	27.9	10.6	19.1	7.6	15.5%	12.8%
結腸	169	188	18.1	18.5	9.9	7.2	6.7	5.0	5.6%	9.7%
直腸	133	79	14.2	7.8	8.4	3.4	6.0	2.4	4.4%	4.1%
肝臓	411	212	44.0	20.9	25.4	8.2	17.5	5.3	13.7%	10.9%
胆嚢・胆管	131	154	14.0	15.2	7.5	5.5	5.0	3.7	4.4%	7.9%
膵臓	181	184	19.4	18.1	11.4	7.6	8.0	5.2	6.0%	9.5%
喉頭	12	0	1.3	0.0	0.6	0.0	0.4	0.0	0.4%	0.0%
肺	727	254	77.9	25.0	42.5	10.1	27.8	6.9	24.2%	13.0%
皮膚 <sup>(*3)</sup>	14	7	1.5	0.7	0.8	0.5	0.6	0.5	0.5%	0.4%
乳房	1	122	0.1	12.0	0.1	8.1	0.0	6.2	0.0%	6.3%
子宮	-	54	-	5.3	-	3.1	-	2.3	-	2.8%
卵巣	-	56	-	5.5	-	3.0	-	2.2	-	2.9%
前立腺	140	-	15.0	-	7.2	-	4.6	-	4.7%	-
膀胱	62	41	6.6	4.0	3.5	1.1	2.4	0.7	2.1%	2.1%
脳・神経系	17	17	1.8	1.7	1.3	1.2	1.0	1.1	0.6%	0.9%
悪性リンパ腫	71	57	7.6	5.6	4.1	2.0	2.7	1.3	2.4%	2.9%
白血病	60	39	6.4	3.8	4.2	1.6	3.1	1.1	2.0%	2.0%

日本人人口：1985年日本人モデル人口 世界人口：Dollの世界人口

皮膚<sup>(\*3)</sup>：皮膚の黒色腫を含む

図 12 に、上位 9 位の部位別死亡割合を男女別にグラフで示した（結腸と直腸を合わせて大腸とした）

図 12 死亡数による部位別割合（%）：主要部位別、性別



## 2. 罹患と死亡の比較

表6に罹患と死亡（人口動態統計による）について、数、粗率、年齢調整率を男女計について対比するとともに、罹患数の死亡数に対する比（I/D比）及び死亡数の罹患数に対する比（D/I比）を示した。なお、外国人については、罹患数集計では除外していないが、死亡数は外国人を除外した数値である。

届出の量的精度を示す第二の指標である全部位のI/D比は、2.04となった。部位別のI/D比は、生存率の相対的な大小を示唆するものであるが、乳房6.46、皮膚5.71、子宮5.61、前立腺4.53、咽頭4.17が4.00以上と高かった。

表6 罹患数及び死亡数、粗率、年齢調整率(人口10万対)及び罹患数と死亡数の比:主要部位別、男女計 2005年

	数		粗率		年齢調整率 <sup>(*)</sup>		罹患数 ／死亡数	死亡数 ／罹患数
	罹患	死亡	罹患	死亡	罹患	死亡		
全部位	10,113	4,957	519.0	254.4	294.0	124.4	2.04	0.49
口腔・咽頭	133	86	6.8	4.4	3.9	2.6	1.55	0.65
食道	188	138	9.6	7.1	5.5	4.0	1.36	0.73
胃	1,692	716	86.8	36.7	47.3	17.9	2.36	0.42
結腸	1,073	357	55.1	18.3	29.7	8.3	3.01	0.33
直腸	590	212	30.3	10.9	17.8	5.6	2.78	0.36
肝臓	745	623	38.2	32.0	20.5	16.0	1.20	0.84
胆嚢・胆管	285	285	14.6	14.6	6.4	6.3	1.00	1.00
膵臓	399	365	20.5	18.7	10.0	9.3	1.09	0.91
喉頭	50	12	2.6	0.6	1.4	0.2	4.17	0.24
肺	1,448	981	74.3	50.3	37.7	23.8	1.48	0.68
皮膚 <sup>(*)3</sup>	120	21	6.2	1.1	3.0	0.6	5.71	0.18
乳房	794	123	40.8	6.3	31.4	4.3	6.46	0.15
子宮	303	54	15.6	2.8	13.4	1.7	5.61	0.18
卵巣	118	56	6.1	2.9	4.2	1.6	2.11	0.47
前立腺	634	140	32.5	7.2	16.1	2.8	4.53	0.22
膀胱	315	103	16.2	5.3	8.3	1.8	3.06	0.33
脳・神経系	79	34	4.1	1.7	2.8	1.3	2.32	0.43
悪性リンパ腫	302	128	15.5	6.6	8.8	2.9	2.36	0.42
白血病	120	99	6.2	5.1	4.2	2.8	1.21	0.83

年齢調整率<sup>(\*)</sup>: 標準人口は1985年日本人モデル人口を用いた。

皮膚<sup>(\*)3</sup>: 皮膚の黒色腫を含む

図 13、14 に 2005 年特定部位の罹患数と死亡数を男女別に比較した。

男では、罹患数 2 位の肺が死亡数では 1 位、女では罹患数 2 位の大腸が死亡数では、1 位であった。

生存率を反映する I/D 比は、男の前立腺 (4.5)、女の乳房 (6.5)、子宮 (5.6) が高かった。

図13 2005年罹患数及び死亡数(特定部位) - 男 -

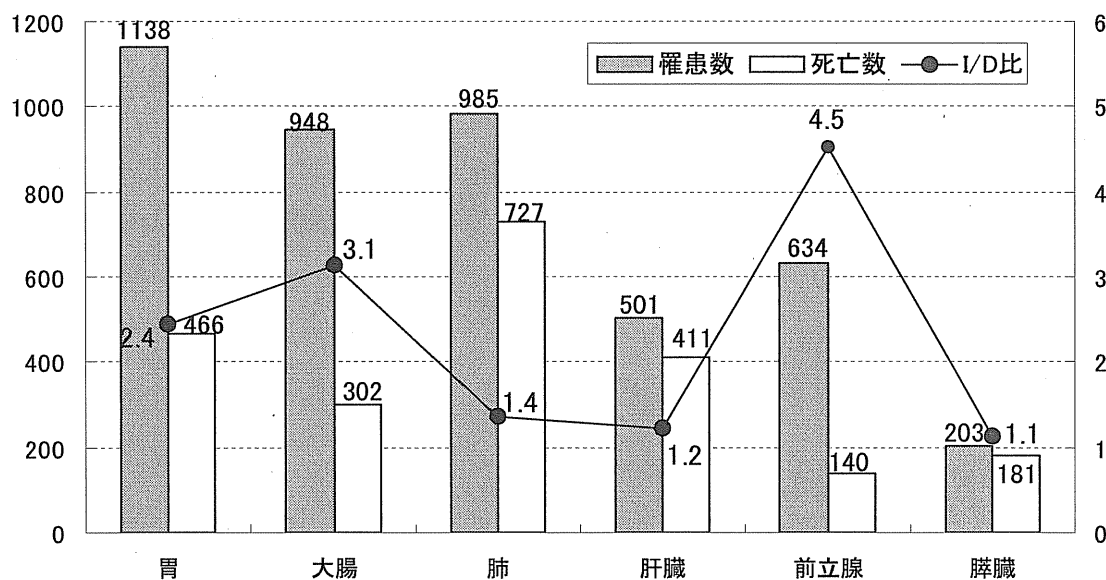
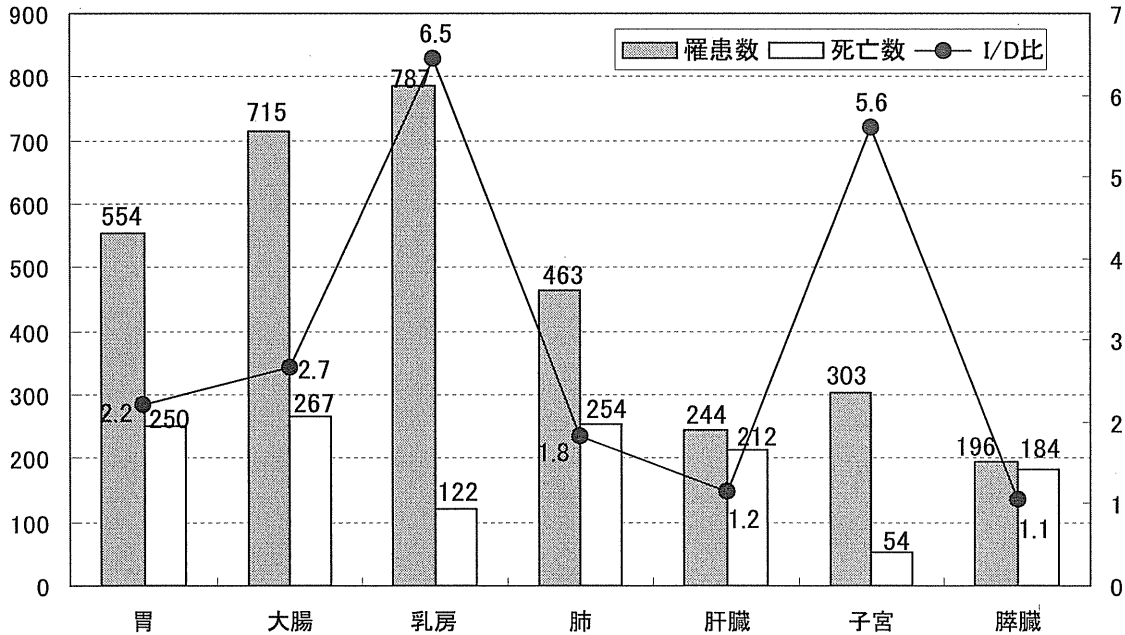


図14 2005年罹患数及び死亡数(特定部位) - 女 -



### 3. 死亡率の岡山県と全国との比較

表7に、年齢調整死亡率を全国値と対比した。全部位で岡山県の全国に対する比をみると、男では0.91で全国を0.01上回り、女で0.85と全国を下回った

表7 岡山県と全国との比較 -年齢調整死亡率と年齢調整罹患率(参考)-:主要部位別、性別 2005年

	年齢調整死亡率 <sup>(*)</sup>						年齢調整罹患率 <sup>(*)</sup>	
	男		女		岡山/全国		岡山/全国	
	岡山	全国	岡山	全国	男	女	男	女
全部位	180.8	197.7	83.1	97.3	0.91	0.85	0.90	0.92
食道	7.4	9.7	1.1	1.3	0.76	0.87	0.67	0.63
胃	27.9	34.2	10.6	12.5	0.82	0.85	0.90	0.86
結腸	9.9	13.9	7.2	9.3	0.71	0.78	0.99	0.93
直腸	8.4	9.3	3.4	3.9	0.90	0.86	0.96	1.15
肝臓	25.4	23.7	8.2	7.7	1.07	1.06	1.02	1.01
胆嚢・胆管	7.5	7.6	5.5	5.4	0.98	1.02	0.85	0.77
膵臓	11.4	12.6	7.6	7.5	0.91	1.01	0.93	0.96
肺	42.5	44.6	10.1	11.7	0.95	0.86	1.00	1.17
乳房	0.1	-	8.1	11.4	-	0.71	-	1.07
子宮	-	-	3.1	5.1	-	0.61	-	0.81
卵巣	-	-	3.0	4.3	-	0.70	-	0.86
前立腺	7.2	8.5	-	-	0.9	-	0.90	-
膀胱	3.5	3.8	1.1	1.0	0.91	1.08	1.07	1.16
悪性リンパ腫	4.1	5.0	2.0	2.7	0.81	0.76	0.69	0.88
白血病	4.2	4.8	1.6	2.6	0.88	0.63	0.72	0.81

年齢調整死亡率<sup>(\*)</sup>: 岡山の値については、表5から転記した。全国値については人口動態統計による。

年齢調整罹患率<sup>(\*)</sup>: 表4から転記した。